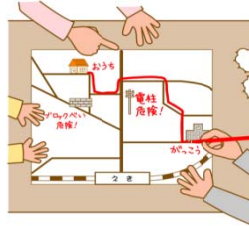


図上訓練(D I G)研修会

『DIG』って何??

『DIG』とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、**D**isaster **I**magination **G**ameの頭文字をとって『DIG (ディグ)』と名付けられました。

英語の動詞 digには「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。『DIG』という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。



図上訓練 (DIG) は、地図を広げて自分たちの住む地域に起るかもしれない災害をより具体的にとらえ、自分たちでできる備えは何があるのか考えるというものです。自分の地域で実施する前に DIGに必要な道具やポイントなどが学べます。実施最少人員は原則として15人以上、1ヶ月前までにお申し込みください。詳細については、県防災研修センターにお問い合わせください。

鹿児島県防災研修センター

電話 0995-64-5251

FAX 0995-66-5909



体験後の感想

- ★皆で協力して楽しみながら DIG を行うことが出来て、防災に向けて日頃からの備えが必要なんだという事とを改めて感じた。
- ★知らない道や場所などが多く、実際に被災した時に正しい避難経路で逃げられるか分からないから、今回の研修会を経て色々なことを知ることができて良かった。
- ★消防車が通ることが可能な道路が少なく狭い道が多いと感じた。狭い道で土砂崩れや崩壊、火災が発生することで、救助までに時間が掛かりそうだと感じた。
- ★地元の地形や施設の位置を把握することができて、とても勉強になった。家族とも災害時のことを話あってみたいと思った
- ★自分達の街の避難場所など知る事が出来て良かった。避難時に注意しなければならないことを知る機会になったので今後自分の周りの人達にも伝えたい